

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	1	1	1	生涯学習	学習機会・内容の充実
実施計画事業名					
地域未来塾事業					

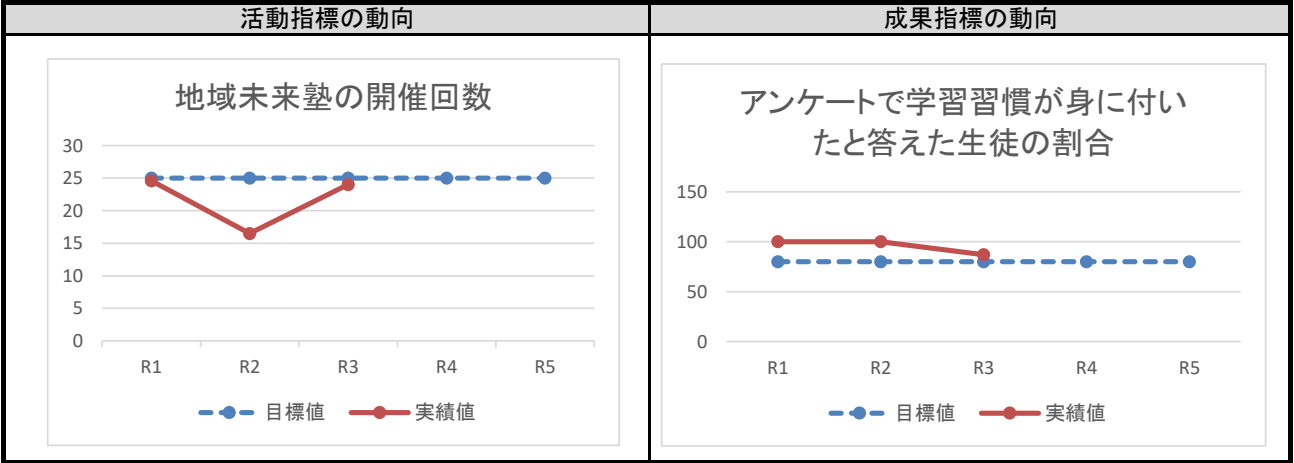
予算科目					
款 項 目 事				事業名	
9	05	01	13	地域未来塾事業	
担当課・係等					
生涯学習課生涯学習係					

実施計画整理番号	
101010101	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	学習が遅れがちな中学3年生を対象として、自主的な学習をサポートすることで学習習慣が身に付くようにする。	各公共施設において、本事業を定期的を開催することで、学習環境の充実を図る。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	学習が遅れがちな中学3年生を対象として、自主的な学習をサポートすることで、施策「学習機会・内容の充実」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費		千円	467	475	416	467				
	財源内訳	国補助	千円								
		県補助	千円								
		市債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	467	475	416	467				
	人工数		人	0.45							
	人件費		千円	3,403							

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
長期休業期間及び毎週土曜日に実施することで、学習習慣の確立を図る。	地域未来塾の開催回数	回	目標値 25	25	25	25
			実績値 16.5	24		
			目標値			
			実績値			
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
継続的に開催することで、参加生徒の学習習慣の確立につなげる。	アンケートで学習習慣が身に付いたと答えた生徒の割合	%	目標値 80	80	80	80
			実績値 100	87		



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					予算科目					整理番号
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	
1	1	1	1	地域未来塾事業	9	05	01	13	地域未来塾事業	101010101

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	参加生徒17名(途中脱退3名)で1回あたり2時間。計24回実施することで、参加生徒の学習機会の充実が図られた。		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	B: 効率性が認められる
	総合評価		
	B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)		
	分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
	新型コロナウイルス感染症対策のため窓を開放し実施したが、会場として使用した中央公民館は空調能力が低いため学習環境としては好ましくない状態であった。		

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性		改善・改革の手法	
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要		④調達方法の見直し	
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)			
	実施会場を空調設備の整った会場に変更し実施する。			
	企画政策課の評価		評価理由	
	B	A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当	成果指標の状況からも参加生徒の学習習慣の確立に資する事業と認められる。引き続き、継続的な実施に努めるとともに、より効率的な開催手法により生徒の学習意欲の向上を図っていただきたい。	

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	1	1	1	生涯学習	学習機会・内容の充実
実施計画事業名					
文化会館主催事業					

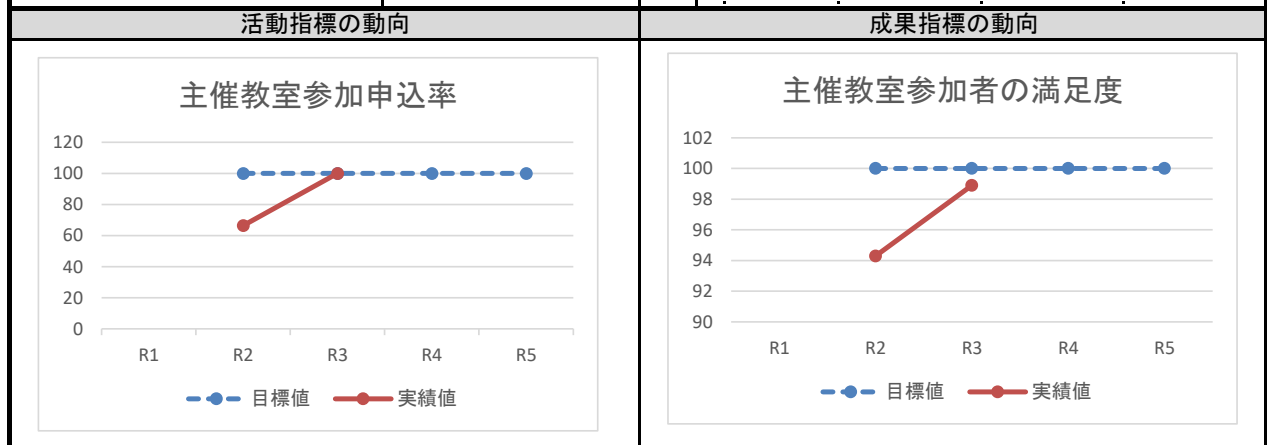
予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	05	06	03	文化会館主催事業
担当課・係等				
東部台文化会館管理事業係				

実施計画整理番号	
101010102	
総合戦略 整理番号	

事業 事業 の 概 要 (P L A N)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	市民の文化活動を支援し、教養の向上を図るための講座や事業を充実させる。また、外房地区に映画館のない現状のなか、市民の身近な施設で上質な映画を定期的に提供することにより、文化活動の拠点となるようにする。	・多様なニーズにあった主催教室を実施する。 ・主催事業として、上質な映画を定期的に上映する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	市民の学習ニーズの多様化や主体的な学習意欲の高まりに伴い、効率的な主催事業運営に努める必要がある。各世代の多様なニーズにあった主催事業を拡充することにより、市民の教養の向上、健康の増進を図ることで、市民の満足度向上につなげ、ひいては施策「学習機会・内容の充実」に寄与する。	

投入 される 行政 コスト (D O)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費	千円	862	862	272	862					
財 源 内 訳	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円	215	215		215					
	一般財源	千円	647	647	272	647					
	人工数	人	1.65								
	人件費	千円	11,062								

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
主催事業でのアンケート等を活用し、各世代の多様なニーズにあった主催事業の充実を図ることで、参加申込の向上に努める。	参加申込率	%	目標値 100	100	100	100
			実績値 66.4	100		
			目標値			
			実績値			
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
市民の文化活動の支援並びに教養の向上や健康の増進を図るための講座や事業を充実することで、参加者の満足度の向上につなげ、文化活動の拠点となるようにする。	主催教室参加者へのアンケートで「大変満足・満足」と答えた割合	%	目標値 100	100	100	100
			実績値 94.3	98.9		



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					予算科目					整理番号
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	
1	1	1	1	文化会館主催事業	9	05	06	03	文化会館主催事業	101010102

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	・主催教室は、公式ワナゲ教室、クラフトバンド教室(中級)、クラフトバンド教室(初級)、ノートパソコン教室、大正琴教室、子どもクラフトバンド教室、子どもアレンジフラワー教室を実施した。また、新規に親子で作るプリザーブドフラワー教室を実施し、31回実施し、延べ参加者数305名、参加申込率100%となり各教室とも大変好評であった。 ・主催教室参加者へのアンケートで「大変満足・満足」と答えた割合98.9%、概ね達成できた。 ・映画会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
	B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)		
	分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
	・主催教室はより参加者の満足度が向上されるよう、市民の文化活動に対するニーズの把握が必要となる。 ・映画会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止としたため、今後は映画会の開催方法の見直しを図る必要がある。		

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性		改善・改革の手法	
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要		④調達方法の見直し	
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)			
	・主催教室は、アンケート等により市民の文化活動に対するニーズを把握し、教養の向上や健康の増進に資するよう更なる充実を図っていく。また、広報やポスター等により更なる情報発信を図っていく。 ・映画会は、開催方法や内容を見直し、コロナ状況下のなかでの事業のあり方について検討していく。			
	企画政策課の評価		評価理由	
B	A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当	指標の状況からも市民の教養の向上や健康の増進に資する事業と認められる。今後は開催方法の見直しやより効果的な周知を図るとともに、市民のニーズを的確に把握することで、参加者の満足度向上につなげていただきたい。		

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	1	1	1	生涯学習	学習機会・内容の充実
実施計画事業名					
公民館学級運営費					

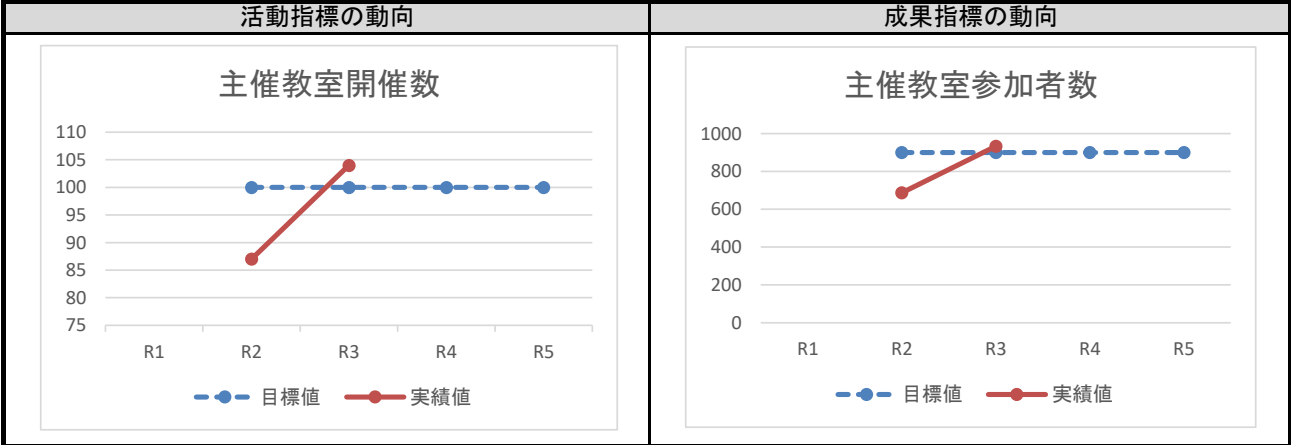
予算科目					
款 項 目 事				事業名	
9	05	02	01	中央公民館学級運営費 本納公民館学級運営費 鶴枝公民館学級運営費	
担当課・係等					
中央公民館					

実施計画整理番号	
101010103	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	市民を対象(市内在勤を含む)に、各種教室を開催し、市民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進及びグループの活性化に寄与する。	・各公民館(中央、本納、鶴枝)では主催教室として女性、成人、少年を対象に25教室を開催する。 ・公民館運営審議会を開催する。 ・広報等により各種教室の情報発信を行う。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	各世代が生きがいを持って学ぶことのできる主催教室を開催することにより、施策「学習機会・内容の充実」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費	千円	1,081	899	703	1,081					
	財源内訳	国補助	千円								
		県補助	千円								
		市債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	1,081	899	703	1,081				
	人工数	人	2.7								
	人件費	千円	16,169								

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
新規の主催教室を企画し、開催回数を増やすことで学習機会の拡充を図る。	・教室等の情報発信数	回	目標値 9	9	9	9
			実績値 9	9		
	・主催教室開催数 (3館合計)	回	目標値 100	100	100	100
			実績値 87	104		
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
市民の教養の向上、健康の増進、情報の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進及びグループの活性化が図られる。	・主催教室参加者数 (累計)	人	目標値 900	900	900	900
			実績値 687	933		



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					予算科目					整理番号
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	101010103
1	1	1	1	公民館学級運営費	9	05	02	01	中央公民館学級運営費 本納公民館学級運営費 鶴枝公民館学級運営費	

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)

各公民館(中央・本納・鶴枝)では、女性、成人、少年を対象に主催教室を開催した。

必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
B: 必要性が認められる	B: 有効性が認められる	B: 効率性が認められる

総合評価

B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)

分析・評価(活動してどのような課題があったか)

- 新型コロナウイルス感染症の影響で開催できなかった主催教室があったため、開催方法を検討する必要がある。
- 教室の参加者は高齢者が主体となっているが、幅広い年齢層の参加を促進する必要がある。
- 新規参加者の獲得のため、新規主催教室の開催や周知方法等について検討する必要がある。

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	③連携・協働の推進

課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)

- ウィズコロナに対応した開催方法を実施していく。
- 幅広い年齢層の参加促進を図るため、受講ニーズを調査していく。
- 受講ニーズに沿った教室の開催やSNSなどを活用して、より効果的な周知を図っていく。

企画政策課の評価	評価理由
B A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検 討が必要 D: 事業終了が適当	市民の教養の向上や健康の増進、グループの活性化等に一定の成果 があったと認められる。一方で、参加者の高齢化等により幅広い年齢層 の参加が課題のため、参加者以外にも受講ニーズの調査を実施すると ともに、より効果的な周知に努めていただきたい。

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	1	2	1	生涯学習	生涯学習体制の強化
実施計画事業名					
生涯学習推進事業					

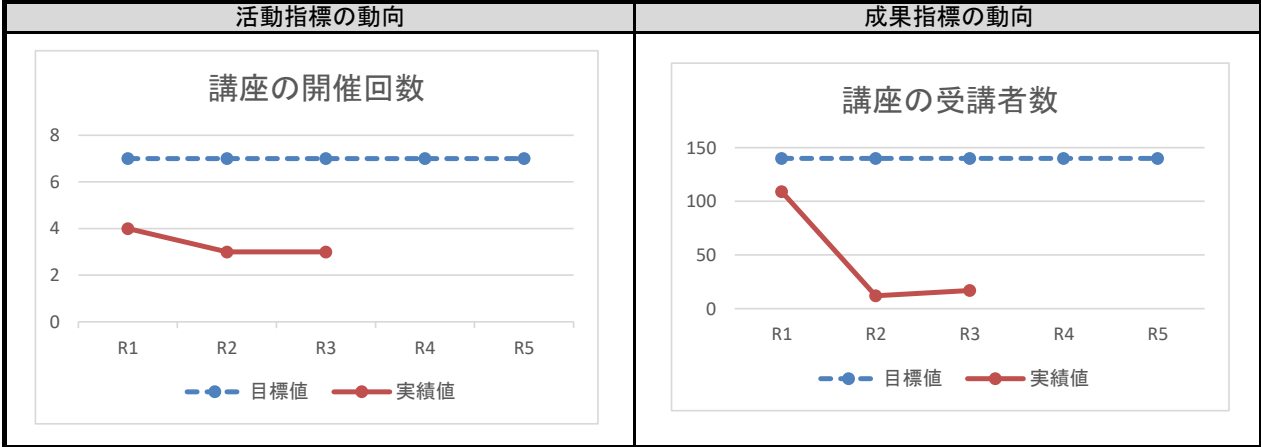
予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	05	01	02	生涯学習推進事業
担当課・係等				
生涯学習課生涯学習係				

実施計画整理番号	
101020101	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	- 生涯学習情報の提供、市民カレッジの開催、学社融合事業の推進を行うことにより、市民が様々な学習活動に参加できるようにする。 - 生涯学習活動を行うすべての市民に成果の発表の場を提供するとともに、新たな学びを求める市民が学習機会に出会える場を創出する。	- 生涯学習推進協議会を通じて市民の意見を取り入れる。 - ハロータウンの発行。 - 体験活動ボランティア活動支援センター情報誌ハローウィンドウの発行。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	様々な生涯学習についての機会を提供するとともに関連機関との連携を図ることで、施策「学習機会・内容の充実」、「生涯学習体制の強化」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分		単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
				計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費		千円	396	396	282	112					
	財源内訳	国補助	千円									
		県補助	千円									
		市債	千円									
		その他	千円									
		一般財源	千円	396	396	282	112					
	人工数		人	0.95								
	人件費		千円	7,185								

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
「市民カレッジ」を開催することにより、市民に対し生涯学習の機会を提供する。また、広報誌を発行することにより、各種体験活動等について情報提供を行う。	市民カレッジ講座の開催回数	回	目標値 7	7	7	7
			実績値 3	3		
			目標値			
			実績値			
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
市民が学習機会に出会える場を創出することで、様々な学習活動に参加できるようにする。	市民カレッジ講座の受講者数	人	目標値 140	140	140	140
			実績値 12	17		



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					予算科目					整理番号
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	
1	1	2	1	生涯学習推進事業	9	05	01	02	生涯学習推進事業	101020101

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	市民カレッジについては、今年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、開催数が3回となった。また、参加人数も17人と伸び悩んだ。 広報誌「ハローウィンドウ」については例年通り年2回の発行を行った。		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	C: 必要性について検討が必要である	C: 有効性について検討が必要である	C: 効率性について検討が必要である
	総合評価		
	C: 成果を挙げる事ができなかった(目標・目的を達成していない)		
	分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
	・市民カレッジについては、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置により開催が出来なかったことに加え、通常の参加者層が高齢のため、自身の感染を恐れて参加を控え、開催数、申し込み人数共にこれまでの実績値を大きく下回ったことからウィズコロナに対応した開催方法を検討する必要がある。 ・広報誌については、広報誌自体の認知度が低いなどの要因があるため配布効果が低いと考える。		

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性		改善・改革の手法	
	C: 事業の休止・廃止の検討が必要		①業務の整理・統合・集約化	
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)			
	・市民カレッジについては、YouTubeチャンネル「生涯学習課チャンネル」にて当日の様態を配信するなどして、オンライン環境でも受講が出来るように手配した。今後も新型コロナウイルス感染症が収束するまでは参加者の減が予想されるため、オンライン配信を継続していく。 ・広報誌については、配布効果が低いことに加え、発行母体である「体験活動ボランティア活動支援センター」(＝茂原市子どもセンター)が令和3年度を以って解散となるため、併せて広報誌の発行も終了する。			
	企画政策課の評価		評価理由	
	C	A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当	市民の学習機会・内容の充実に資する事業である一方、現状では事業継続の必要性が判断できない。今後は、参加者の意見も聴取するとともに事業の方向性についても検討願いたい。	

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	1	3	1	生涯学習	生涯学習の担い手の育成・支援
実施計画事業名					
社会教育関係団体助成事業					

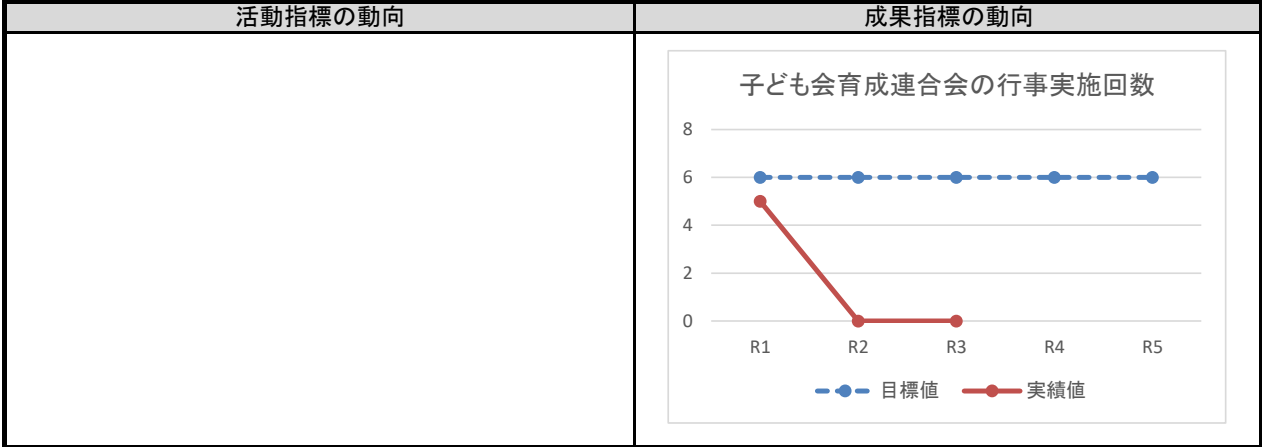
予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	05	01	07	社会教育関係団体助成事業
担当課・係等				
生涯学習課社会教育係				

実施計画整理番号	
101030101	
総合戦略 整理番号	

事業 事業 の 概 要 (P L A N)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	社会教育団体の育成・支援が図られるとともに、活動が活性化されることを目指す。	・各団体(PTA連合会・ボーイスカウト茂原第2団・子ども会育成連合会)の活動を支援する。 ・子ども会育成連合会については、事務局として運営を支える。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	社会教育関係団体に対して財政面及び運営面の支援を行うことで活性化を図り、地域住民等の力を借りて社会教育の充実を図る。ひいては施策「生涯学習体制の強化」、「生涯学習の担い手の育成・支援」及び「青少年健全育成の充実」に寄与する。	

投入 され る 行 政 コ ス ト (D O)	区分		単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
				計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費		千円	884	884	124	774					
	財 源 内 訳	国補助	千円									
		県補助	千円									
		市債	千円									
		その他	千円									
		一般財源	千円	884	884	124	774					
	人工数		人	0.5								
	人件費		千円	3,782								

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
社会教育関係団体の活性化を図るため、補助金交付により財政面を、生涯学習課が事務局を担うことにより運営面を支援する。	社会教育関係団体の活性化を図るため支援を行う	目標値				
		実績値				
		目標値				
		実績値				
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
社会教育関係団体の活性化により、社会教育の推進に努める。	子ども会育成連合会の活動回数	回	6	6	6	6
		実績値				



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					予算科目					整理番号
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名		款	項	目	事	事業名	101030101
1	1	3	1	社会教育関係団体助成事業	9	05	01	07	社会教育関係団体助成事業	

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)

・各団体(PTA連合会・ボーイスカウト茂原第2団・子ども会育成連合会)に補助金を交付し、活動を支援した。

必要性の評価

A: 必要性が高い

有効性の評価

A: 有効性が高い

効率性の評価

A: 効率性が高い

総合評価

B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)

分析・評価(活動してどのような課題があったか)

近年、小学生の子ども会加入率が大幅に落ち込んでおり、また単位子ども会(地区ごとの子ども会)の数も減少傾向にある。
子ども会育成連合会では、毎年、単位子ども会の加入を募っているが、コロナ禍の影響もあり加入数が大幅に減っている。

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性

B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要

改善・改革の手法

③連携・協働の推進

課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)

広報等を活用し、子ども会の意義について周知に努める。

企画政策課の評価

B

A: 計画どおり事業継続が
適当
B: 事業改善の検討が必要
C: 事業の休止・廃止の検
討が必要
D: 事業終了が適当

評価理由

現状では補助金交付により社会教育関係団体の活性化に成果を挙げているとは判断できない。今後は関係機関に意見聴取を実施するなど、事業の必要性も模索し事業内容の見直し・改善を検討いただきたい。

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	2	1	1	学校教育	社会で生きる力の育成
実施計画事業名					
(小)総合学習推進事業					

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	02	02	03	総合学習推進事業
担当課・係等				
学校教育課・学務係				

実施計画整理番号	
102010101	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	児童個々を生かす教育を推進し、確かな学力を育成する。	体験学習を中心に多様な学習形態の工夫により、興味・関心を生かした教育を推進する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	興味・関心を生かした教育を推進することで、児童の思考力・判断力・表現力の育成を図り、ひいては施策「社会で生きる力の育成」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分		単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
				計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費		千円	2,546	2,546	2,280	2,600					
	財源内訳	国補助	千円									
		県補助	千円									
		市債	千円									
		その他	千円									
		一般財源	千円	2,546	2,546	2,280	2,600					
	人工数		人	—								
	人件費		千円	—								

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度																		
各学校が選んだ特定分野に対し、集中的な学習を行えるよう支援する。	学校への支援	目標値																						
		実績値																						
		目標値																						
		実績値																						
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度																		
すべての児童の「社会で生きる力の育成」が図られる。	実施学校数	目標値	100	100	100	100																		
		実績値	100	100																				
活動指標の動向			成果指標の動向																					
			実施学校数 <table><tr><th>年度</th><th>目標値</th><th>実績値</th></tr><tr><td>R1</td><td>100</td><td>100</td></tr><tr><td>R2</td><td>100</td><td>100</td></tr><tr><td>R3</td><td>100</td><td>100</td></tr><tr><td>R4</td><td>100</td><td>100</td></tr><tr><td>R5</td><td>100</td><td>100</td></tr></table>				年度	目標値	実績値	R1	100	100	R2	100	100	R3	100	100	R4	100	100	R5	100	100
年度	目標値	実績値																						
R1	100	100																						
R2	100	100																						
R3	100	100																						
R4	100	100																						
R5	100	100																						

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
1	2	1	1	(小)総合学習推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	02	02	03	総合学習推進事業

整理番号
102010101

課題抽出
(CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
・より効率的に学習成果があげられるよう、各学校が選んだ特定分野に対し、集中的な学習を行った。 ・全小学校で実施できた。		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
いずれの取り組みも、児童の「社会で生きる力」を育む教育の推進という目的に資するものであり、一定の成果があったものと認められる。引き続き、創意工夫を生かした教育活動を実施する必要がある。		

今後の方向性
(ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
引き続き、「総合的な学習の時間」がより効果的に運用されるよう、継続して予算支援を行う。	
企画政策課の評価	評価理由
A A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当	全小学校において実施することで、児童の「社会で生きる力」を育む教育の推進に一定の成果を挙げたと認められる。引き続き、小学校に対する必要な支援を継続されたい。

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	2	1	1	学校教育	社会で生きる力の育成
実施計画事業名					
(中)総合学習推進事業					

予算科目					
款 項 目 事				事業名	
9	03	02	03	総合学習推進事業	
担当課・係等					
学校教育課・学務係					

実施計画整理番号	
102010102	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	生徒個々を生かす教育を推進し、確かな学力を育成する。	体験学習を中心に多様な学習形態の工夫により、興味・関心を生かした教育を推進する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	興味・関心を生かした教育を推進することで、生徒の思考力・判断力・表現力の育成を図り、ひいては施策「社会で生きる力の育成」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費	千円	1,161	1,161	1,060	1,200					
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	1,161	1,161	1,060	1,200					
	人工数	人	—								
	人件費	千円	—								

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度																		
各学校が選んだ特定分野に対し、 集中的な学習を行えるよう支援する	学校への支援		目標値																					
			実績値																					
			目標値																					
			実績値																					
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度																		
すべての生徒の「社会で生きる力の 育成」が図られる。	実施学校数	%	目標値	100	100	100	100																	
			実績値	100	100																			
活動指標の動向			成果指標の動向																					
			実施学校数 <table><tr><th>年度</th><th>目標値</th><th>実績値</th></tr><tr><td>R1</td><td>100</td><td>100</td></tr><tr><td>R2</td><td>100</td><td>100</td></tr><tr><td>R3</td><td>100</td><td>100</td></tr><tr><td>R4</td><td>100</td><td>0</td></tr><tr><td>R5</td><td>100</td><td>0</td></tr></table>				年度	目標値	実績値	R1	100	100	R2	100	100	R3	100	100	R4	100	0	R5	100	0
年度	目標値	実績値																						
R1	100	100																						
R2	100	100																						
R3	100	100																						
R4	100	0																						
R5	100	0																						

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
1	2	1	1	(中)総合学習推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	03	02	03	総合学習推進事業

整理番号
102010102

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
・より効率的に学習成果があげられるよう、各学校が選んだ特定分野に対し、集中的な学習を行った。 ・全中学校で実施できた。		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
いずれの取り組みも、生徒の「社会で生きる力」を育む教育の推進という目的に資するものであり、一定の成果があったものと認められる。引き続き、創意工夫を生かした教育活動を実施する必要がある。		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
引き続き、「総合的な学習の時間」がより効果的に運用されるよう、継続して予算支援を行う。	
企画政策課の評価	評価理由
A A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当	全中学校において実施することで、児童の「社会で生きる力」を育む教育の推進に一定の成果を挙げたと認められる。引き続き、中学校に対する必要な支援を継続されたい。

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	2	1	1	学校教育	社会で生きる力の育成
実施計画事業名					
子どもの読書活動推進事業					

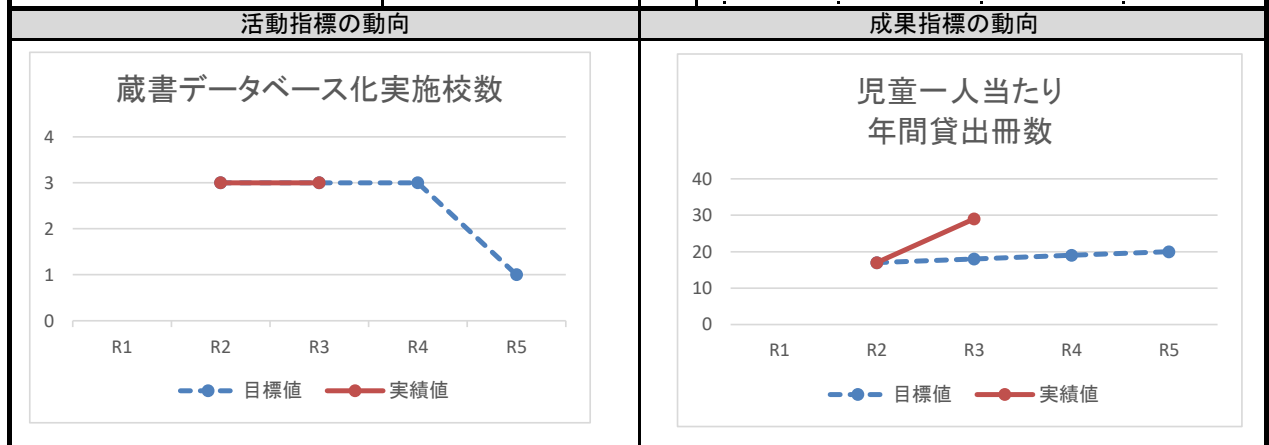
予算科目					
款	項	目	事	事業名	
9	02	02	7	子どもの読書活動推進事業	
担当課・係等					
学校教育課・指導係					

実施計画整理番号	
102010103	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	学校図書館の整備・充実を図り、児童・生徒の読書活動や学習活動を充実させる。	・専任の学校司書を配置する。 ・学校図書館の蔵書のデータベース化を図る。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	学校図書館の整備及び読書活動や学習活動の充実を図ることで、本に親しむ意欲と態度の育成につなげ、ひいては、施策「社会で生きる力の育成」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分		単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
				計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	財源内訳	事業費	千円	13,861	13,861	9,297	11,742					
		国補助	千円									
		県補助	千円									
		市債	千円									
		その他	千円									
		一般財源	千円	13,861	13,861	9,297	11,742					
	人工数		人	7								
	人件費		千円	6,550								

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
学校図書館整備の中心となる蔵書データベース化実施校の拡充に努める。	蔵書データベース化実施校数	校	目標値 3	3	3	1
			実績値 3	3		
			目標値			
			実績値			
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
学校図書館の整備及び読書活動や学習活動の推進により本に親しむ意欲と態度の育成ひいては社会で生きる力の育成につなげる。	児童一人当たり年間貸出冊数	冊	目標値 17	18	19	20
			実績値 17	29		



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					予算科目					整理番号
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	102010103
1	2	1	1	子どもの読書活動推進事業	9	02	02	7	子どもの読書活動推進事業	

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	・昨年度までに蔵書データベース化が完了した小学校6校に加えて、本年度、小学校3校の蔵書データベース化を完了し、全小学校13校中9校となった。 ・蔵書データベース化により、必要な本が整理されて貸出業務が迅速になるとともに、児童の読書傾向を正確に把握できたため、選書の有効な手立てとなった。 ・児童の委員会活動が活発化し、読書活動を推進することができた。		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	B: 必要性が認められる	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
	A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)		
	分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
	・蔵書がデータ管理されたことで、蔵書の偏りや複本が判明した。より効果的な選書をしていく必要がある。 ・データベース化作業の準備段階として除籍を計画的に進めておかなければならない。 ※除籍・・・図書館等において図書原簿から図書館資料を除去すること。		

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性		改善・改革の手法	
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要		⑤更なる事業の推進	
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)			
	・学習や教科等で学校図書館を効果的に活用するため、蔵書データベース化を継続して推進していく。			
	企画政策課の評価		評価理由	
	B	A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当	学校図書館の環境整備を推進することにより、児童の読書活動や学習活動の充実に寄与していると認められる。引き続き事業の推進を図ることで、より効果的に学校図書館が活用されるよう努めていただきたい。	

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	2	1	2	学校教育	社会で生きる力の育成
実施計画事業名					
(小)国際教育推進事業					

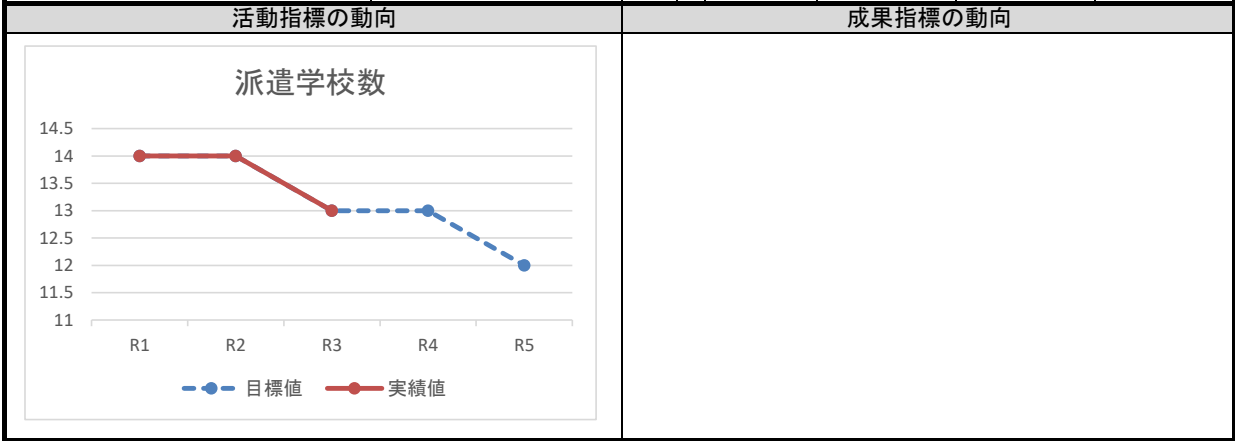
予算科目					
款 項 目 事				事業名	
9	02	02	5	国際教育推進事業	
担当課・係等					
学校教育課・指導係					

実施計画整理番号	
102010201	
総合戦略 整理番号	

事務 事業 の 概 要 （ P L A N ）	事業の目標・目的（誰・何をどのような状態にするか）	主な活動内容（目標を達成するために何を行うか）
	児童が外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しみ、コミュニケーションを図る素地、基礎となる資質・能力を身に付けられるようにする。	ALTを全小学校へ派遣し、ALTと触れ合う機会を多く提供する。 ※ALT・・・Assistant Language Teacherの略、外国語を母国語とする外国語指導助手のこと
	基本計画への寄与（基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか）	
	児童がALTと触れ合うことにより、異なる文化を学び、理解することで、グローバル化に対応したコミュニケーション能力の育成を図り、ひいては施策「社会で生きる力の育成」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費		千円	20,328	15,620	15,620	20,328				
	財源内訳	国補助	千円								
		県補助	千円								
		市債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	20,328	15,620	15,620	20,328				
	人工数		人								
	人件費		千円								

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度	
ALTを全小学校へ派遣し、ALTと触れ合う機会を多く提供する。	派遣学校数	校	目標値	14	13	13	12
			実績値	14	13		
			目標値				
			実績値				
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度	
児童が外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しみ、コミュニケーションを図る素地、基礎となる資質・能力を身に付けられるようにする。			目標値				
			実績値				



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
1	2	1	2	(小)国際教育推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	02	02	5	国際教育推進事業

整理番号
102010201

課題抽出（CHECK）

活動内容と成果（具体的に何をしたか、どのような実績があったか）		
・小学校3,4年生の外国語活動の授業に週1回、小学校5,6年生の外国語科の授業に週2回、ALTを配置した。 ・すべての小学校に派遣できた。		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
総合評価		
A: 十分な成果を挙げた（目標・目的を達成している）		
分析・評価（活動してどのような課題があったか）		
すべての小学校にALTを派遣したことにより、外国語による言語活動を通して、コミュニケーションを図る素地・基礎となる資質・能力を養うことができた。また、言語・文化等の違いを越えて関係を構築する能力を養うことができた。		

今後の方向性（ACTION）

事業の方向性		改善・改革の手法
A: 計画どおり事業を進めることが適当		⑤更なる事業の推進
課題を解決する具体的な取組（具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか）		
引き続き、ALTを全小学校に派遣することで、実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けることができると考える。		
企画政策課の評価		評価理由
A A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当		ALTを全小学校へ派遣し、定期的に授業への配置ができており、グローバル化に対応したコミュニケーション能力の育成に一定の成果を挙げたと認められる。引き続き、ALTの全小学校への派遣により、技能定着の支援に努められたい。

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	2	1	2	学校教育	社会で生きる力の育成
実施計画事業名					
(中)国際教育推進事業					

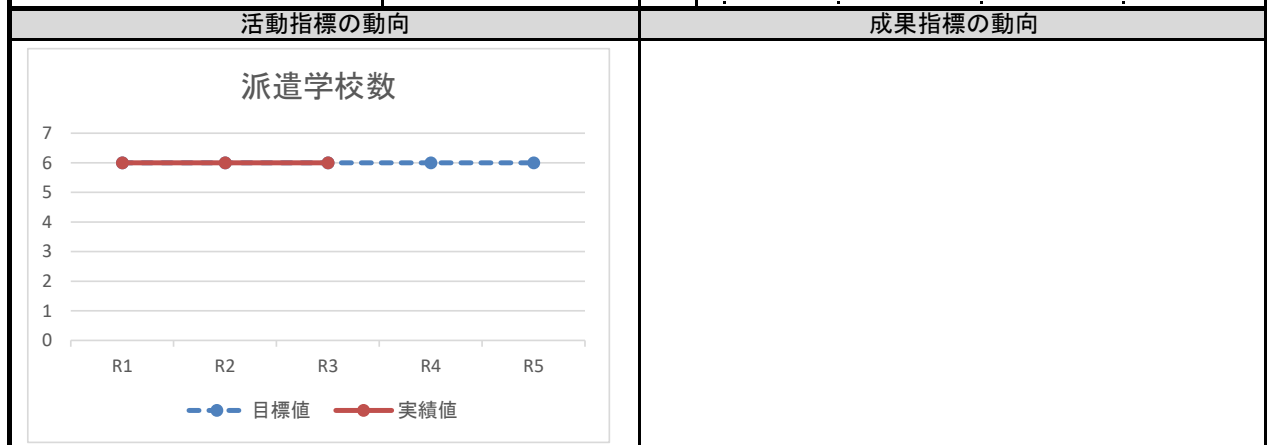
予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	03	02	5	国際教育推進事業
担当課・係等				
学校教育課・指導係				

実施計画整理番号	
102010202	
総合戦略 整理番号	

事業 事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	生徒が情報や考えなどを理解したり、表現したり、伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を身に付けられるようにする。	ALTを全中学校へ派遣し、ALTと触れ合う機会を多く提供する。 中学生を海外に派遣し、ホームステイによる異文化交流を図る。 ※ALT・・・Assistant Language Teacherの略、外国語を母国語とする外国語指導助手のこと
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	生徒がALTと触れ合うことにより、異なる文化を学び、理解を深めることで、グローバル化に対応したコミュニケーション能力の育成を図り、ひいては施策「社会で生きる力の育成」に寄与する。	

投入 される 行政コスト (DO)	区分		単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
				計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費		千円	34,192	27,130	23,430	34,192					
財源内訳	国補助		千円									
	県補助		千円									
	市債		千円									
	その他		千円									
	一般財源		千円	34,192	27,130	23,430	34,192					
	人工数		人									
	人件費		千円									

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
・ALTを全中学校へ派遣し、ALTと触れ合う機会を多く提供する。 ・中学生の海外派遣	派遣学校数	校	目標値 6	6	6	6
			実績値 6	6		
	海外派遣人数	人	目標値 31	31	31	31
			実績値 31			
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
生徒が情報や考えなどを理解したり、表現したり、伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を身に付けられるようにする。			目標値			
			実績値			



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					予算科目					整理番号
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	
1	2	1	2	(中)国際教育推進事業	9	03	02	5	国際教育推進事業	102010202

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	・すべての中学校にALTを派遣した。 ・中学生の海外派遣事業については、新型コロナウイルス感染症により中止となった。		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
	B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)		
	分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
	・すべての中学校にALTを派遣したことにより、外国語による言語活動を通して、コミュニケーションを図る資質・能力を養うことができた。また、広い視野に立ち、言語・文化等の違いを越えて関係を構築する能力を養うことができた。 ・新型コロナウイルス感染症により海外渡航が制限されているなか、今後の海外派遣について検討する必要がある。		

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	引き続き、ALTを全中学校に派遣することで、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けることができると考える。	
	企画政策課の評価	評価理由
	B A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検 討が必要 D: 事業終了が適当	ALTの全中学校への派遣ができており、グローバル化に対応したコミュニケーション能力の育成に一定の成果を挙げたと認められる。今後は、コロナ禍でも実施可能な異文化交流について検討に努められたい。

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	2	2	1	学校教育	豊かな人間性の育成
実施計画事業名					
(小)学校教育支援事業					

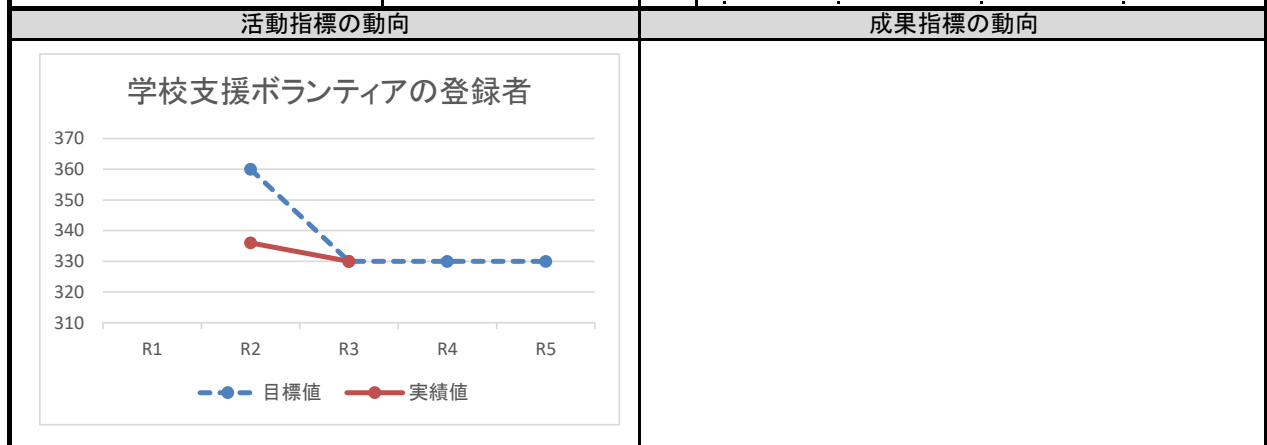
予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	02	02	04	学校教育支援事業
担当課・係等				
学校教育課・指導係				

実施計画整理番号	
102020101	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	学校の教育環境について、ソフト面において支援を行い、児童の豊かな人間関係作りに必要な基本的な力を育むとともに、円滑な学校教育を推進する。	学校支援ボランティアや心の教室相談員等を配置、斡旋する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	学校支援ボランティアや心の教室相談員が、学校における教育活動の中で必要な活動や支援を行い、ソフト面からの支援を行うことで、豊かな人間関係づくりに必要な基本的な力を育み、ひいては施策「豊かな人間性の育成」に寄与する。	

投入される行政コスト (DO)	区分		単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
				計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費		千円	4,619	4,619	3,987	3,990					
財源内訳	国補助		千円									
	県補助		千円									
	市債		千円									
	その他		千円									
	一般財源		千円	4,619	4,619	3,987	3,990					
	人工数		人	1								
	人件費		千円	2,556								

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
学校支援ボランティアの登録や心の教室相談員を配置する。	学校支援ボランティアの登録者	人	目標値 360	330	330	330
			実績値 336	330		
	心の教室相談員配置校	校	目標値 4	4	4	4
			実績値 4	4		
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
児童が豊かな人間関係づくりに必要な基本的な力を身に付ける。		%	目標値			
			実績値			



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					予算科目					整理番号
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	102020101
1	2	2	1	(小)学校教育支援事業	9	02	02	04	学校教育支援事業	

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	・各小学校に登録した学校支援ボランティアが、学校の環境整備、教育活動、安全対策等を支援した。 ・心の教室相談員を4校に配置し、児童の悩み相談等に応じた。		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	B: 必要性が認められる	B: 有効性が認められる	B: 効率性が認められる
	総合評価		
	B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)		
	分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
	・新型コロナウイルス感染症により、学校の教育活動の支援が思うようにできなかったが、交通安全見守りボランティアは十分に支援を果たした。 ・心の教室相談員は、児童の悩みや不安等の相談にのり、心にゆとりを持てる環境を提供することが出来た。		

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性		改善・改革の手法	
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要		⑥その他	
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)			
	・引き続き、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を注視しつつ、学校の教育環境の整備や、教育活動等支援していくことで、円滑な学校教育を推進していく。			
	企画政策課の評価		評価理由	
	B	A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当	学校支援ボランティアの登録も指標に達しており、児童の豊かな人間関係づくりに必要な力の形成に一定の成果を挙げたと認められる。引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を行い、事業の継続に努められたい。	

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	2	2	1	学校教育	豊かな人間性の育成
実施計画事業名					
(中)学校教育支援事業					

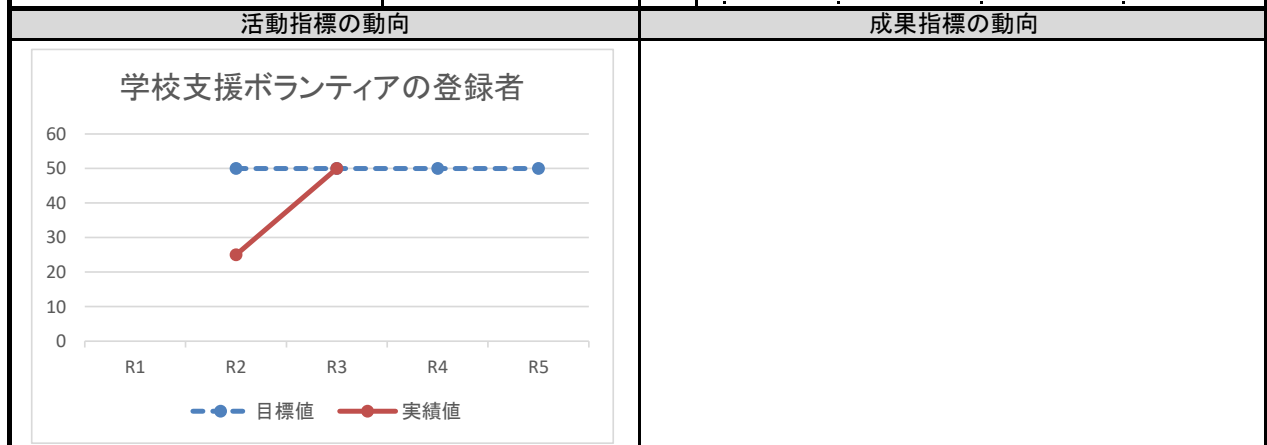
予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	03	02	04	学校教育支援事業
担当課・係等				
学校教育課・指導係				

実施計画整理番号	
102020102	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	学校の教育環境について、ソフト面において支援を行い、生徒の豊かな人間関係作りに必要な基本的な力を育むとともに、円滑な学校教育を推進する。	学校支援ボランティアや心の教室相談員等を配置、斡旋する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	学校支援ボランティアが、学校における教育活動の中で必要な活動や支援を行い、ソフト面からの支援を行うことで、豊かな人間関係づくりや社会性を育成し、ひいては施策「豊かな人間性の育成」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分		単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
				計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費		千円	4,972	4,972	2,377	4,674					
	国補助	千円										
		千円										
		千円										
		千円										
	その他		千円	132	132	744						
	一般財源		千円	4,840	4,840	1,633	4,674					
	人工数		人	2								
	人件費		千円	1,822								

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
学校支援ボランティアの登録や適応指導教室の設置	学校支援ボランティアの登録者	人	目標値 50	50	50	50
			実績値 25	50		
	適応指導教室の設置	箇所	目標値 2	2	2	2
			実績値 2	2		
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
生徒が豊かな人間関係づくりに必要な基本的な力を身に付ける。			目標値			
			実績値			



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					予算科目					整理番号
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	102020102
1	2	2	1	(中)学校教育支援事業	9	03	02	04	学校教育支援事業	

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	・各中学校に登録した学校支援ボランティアが、学校の環境整備、教育活動等を支援した。 ・適応指導教室を2箇所設置し、不登校児童・生徒を対象に、集団への適応・自立を促し学校生活への復帰を促した。		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		

A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)

分析・評価(活動してどのような課題があったか)

- ・新型コロナウイルス感染症により、学校の教育活動の支援が思うようにできなかった。
- ・不登校児童生徒の対応について、児童・生徒の意志を尊重しながら、在籍校へ復帰できるよう指導・支援したことで、学校復帰を果たした。

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性		改善・改革の手法	
	A: 計画どおり事業を進めることが適当		⑤更なる事業の推進	
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)			
	・引き続き、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を注視しつつ、学校の教育環境の整備や、教育活動等支援していくことで、円滑な学校教育を推進していく。 ・引き続き、不登校児童生徒の対応を、学校と連携を密にしながら対応していく。			
	企画政策課の評価		評価理由	
	A	A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当	学校支援ボランティア等の活動により、豊かな人間関係づくりや社会性の育成に一定の成果を挙げたと認められる。引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、事業の継続に努められたい。	

A

- A: 計画どおり事業継続が適当
- B: 事業改善の検討が必要
- C: 事業の休止・廃止の検討が必要
- D: 事業終了が適当

学校支援ボランティア等の活動により、豊かな人間関係づくりや社会性の育成に一定の成果を挙げたと認められる。引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、事業の継続に努められたい。

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	2	2	4	学校教育	豊かな人間性の育成
実施計画事業名					
(小)特別支援教育支援員活用事業					

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	02	01	01	一般職人件費
担当課・係等				
学校教育課・指導係				

実施計画整理番号	
102020401	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	障害がある子どもが、安心して学校生活を過ごすことができ、適正な教育や支援を受けられるようにする。	特別支援教育支援員を配置する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	障害があり、集団の中で学習やソーシャルスキルに課題がある児童に対し、安心して学校生活を過ごすことができ、自尊心低下が抑えられることを目的として、個別で丁寧に支援するために特別教育支援員を配置することは、施策「豊かな人間性の育成」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費	千円	35,361	33,568	28,863	31,626					
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	35,361	33,568	28,863	31,626					
	人工数	人	—								
	人件費	千円	—								

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
特別支援教育支援員を配置する。	配置人数	人	目標値 18	18	18	18
			実績値 18	18		
	配置校数	校	目標値 13	12	12	12
			実績値 13	12		
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
障害がある子どもが、安心して学校生活を過ごすことができ、適正な教育や支援を受けられるようにする。			目標値			
			実績値			

活動指標の動向	成果指標の動向																		
配置人数 <table><caption>配置人数の動向</caption><tr><th>年度</th><th>目標値</th><th>実績値</th></tr><tr><td>R1</td><td>18</td><td>18</td></tr><tr><td>R2</td><td>18</td><td>18</td></tr><tr><td>R3</td><td>18</td><td>18</td></tr><tr><td>R4</td><td>18</td><td>18</td></tr><tr><td>R5</td><td>18</td><td>18</td></tr></table>	年度	目標値	実績値	R1	18	18	R2	18	18	R3	18	18	R4	18	18	R5	18	18	
年度	目標値	実績値																	
R1	18	18																	
R2	18	18																	
R3	18	18																	
R4	18	18																	
R5	18	18																	

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					予算科目					整理番号
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	102020401
1	2	2	4	(小)特別支援教育支援員活用事業	9	02	01	01	一般職人件費	

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	・特別に支援の要する児童に対し、学校生活上の介助や学習指導上の支援等、個に応じた教育や支援を行った。		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
	A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)		
	分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
	・近年、支援を要する児童が増加傾向にあり、一人ひとりの障害に応じたきめ細かな支援が求められている。		

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性		改善・改革の手法	
	A: 計画どおり事業を進めることが適当		⑤更なる事業の推進	
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)			
	・引き続き、学校全体で組織的な支援を行い、一人ひとりの教育的ニーズに対応した、適切な教育や必要な支援を推進するため、継続して支援員を配置していく。			
	企画政策課の評価		評価理由	
	A	A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当	特別支援教育支援員を全小中学校に配置していることにより、障害がある子どもの適正な教育や支援に一定の成果を挙げたと認められる。引き続き支援員を配置するとともに、個々のケースに応じたきめ細やかな支援に努められたい。	

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	2	2	4	学校教育	豊かな人間性の育成
実施計画事業名					
(中)特別支援教育支援員活用事業					

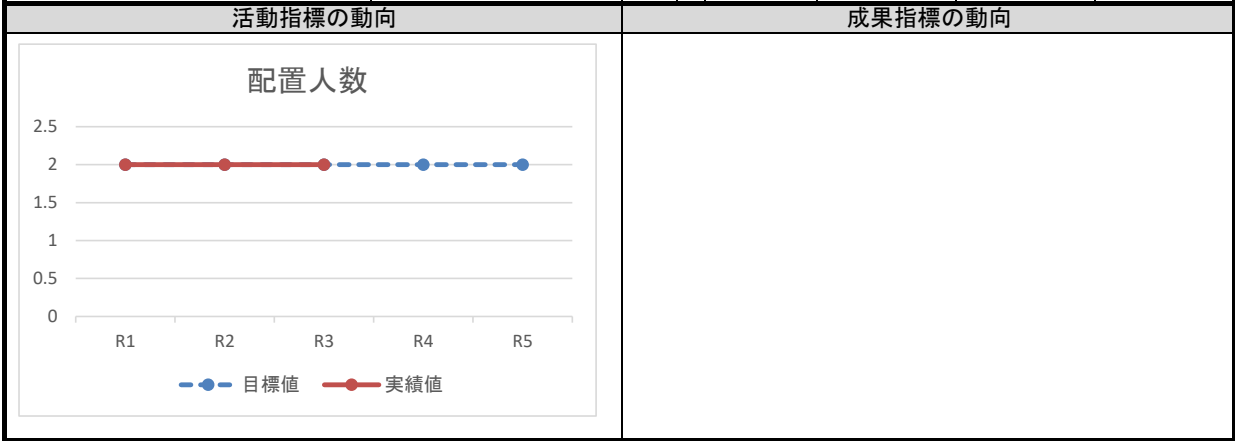
予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	03	01	01	一般職人件費
担当課・係等				
学校教育課・指導係				

実施計画整理番号	
102020402	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	障害がある子どもが、安心して学校生活を過ごすことができ、適正な教育や支援を受けられるようにする。	特別支援教育支援員を配置する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	障害があり、身辺自立や学習に課題がある生徒に対し、安心して学校生活を過ごすことができ、自尊心低下が抑えられることを目的として、個別で丁寧に支援するために特別教育支援員を配置することは、施策「豊かな人間性の育成」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費	千円	2,367	2,367	1,901	2,017					
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	2,367	2,367	1,901	2,017					
	人工数	人	—								
	人件費	千円	—								

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
特別支援教育支援員の配置	配置人数	人	目標値 2	2	2	2
			実績値 2	2		
	配置校数	校	目標値 2	2	2	2
			実績値 2	2		
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
障害がある子どもが、安心して学校生活を過ごすことができ、適正な教育や支援を受けられるようにする。			目標値			
			実績値			



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					予算科目					整理番号
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	102020402
1	2	2	4	(中)特別支援教育支援員活用事業	9	03	01	01	一般職人件費	

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	・特別に支援の要する生徒に対し、学校生活上の介助や学習指導上の支援等、個に応じた教育や支援を行った。		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
	A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)		
	分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
	・近年、支援を要する生徒が増加傾向にあり、一人ひとりの障害に応じたきめ細かな支援が求められている。		

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性		改善・改革の手法	
	A: 計画どおり事業を進めることが適当		⑤更なる事業の推進	
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)			
	・引き続き、学校全体で組織的な支援を行い、一人ひとりの教育的ニーズに対応した、適切な教育や必要な支援を推進するため、継続して支援員を配置していく。			
	企画政策課の評価		評価理由	
	A	A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当	特別支援教育支援員を全中学校に配置していることにより、障害がある子どもの適正な教育や支援に一定の成果を挙げたと認められる。引き続き支援員を配置するとともに、個々のケースに応じたきめ細やかな支援に努められたい。	

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	2	2	4	学校教育	豊かな人間性の育成
実施計画事業名					
(幼)特別支援教育支援員活用事業					

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	04	1	1	一般職人件費
担当課・係等				
学校教育課・指導係				

実施計画整理番号	
102020403	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	障害がある子どもが、安心して園生活を過ごすことができ、適正な教育や支援を受けられるようにする。	特別支援教育支援員を配置する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	障害があり、集団の中で学習やソーシャルスキルに課題がある児童に対し、安心して園生活を過ごすことができ、自尊心低下が抑えられることを目的として、個別で丁寧に支援するために特別教育支援員を配置することは、施策「豊かな人間性の育成」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分		単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
				計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費		千円	7,822	7,822	6,846	3,866					
	財源内訳	国補助	千円									
		県補助	千円									
		市債	千円									
		その他	千円									
		一般財源	千円	7,822	7,822	6,846	3,866					
	人工数		人	—								
	人件費		千円	—								

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
特別支援教育支援員の配置	配置人数	人	目標値 6	4	2	2
			実績値 6	4		
	配置園数	園	目標値 3	2	1	1
			実績値 3	2		
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
障害がある子どもが、安心して園生活を過ごすことができ、適正な教育や支援を受けられるようにする。			目標値			
			実績値			

活動指標の動向	成果指標の動向																		
配置人数 <table><caption>配置人数の動向</caption><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr><tr><td>R1</td><td>4</td><td></td></tr><tr><td>R2</td><td>6</td><td></td></tr><tr><td>R3</td><td>4</td><td></td></tr><tr><td>R4</td><td></td><td>2</td></tr><tr><td>R5</td><td></td><td>2</td></tr></table>	年度	実績値	目標値	R1	4		R2	6		R3	4		R4		2	R5		2	
年度	実績値	目標値																	
R1	4																		
R2	6																		
R3	4																		
R4		2																	
R5		2																	

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					予算科目					整理番号
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	102020403
1	2	2	4	(幼)特別支援教育支援員活用事業	9	04	1	1	一般職人件費	

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	・特別に支援の要する幼児に対し、学校生活上の介助や学習指導上の支援等、個に応じた教育や支援を行った。		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
	A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)		
	分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
	・近年、支援を要する幼児が増加傾向にあり、一人ひとりの障害に応じたきめ細かな支援が求められている。		

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性		改善・改革の手法	
	A: 計画どおり事業を進めることが適当		⑤更なる事業の推進	
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)			
	・引き続き、学校全体で組織的な支援を行い、一人ひとりの教育的ニーズに対応した、適切な教育や必要な支援を推進するため、継続して支援員を配置していく。			
	企画政策課の評価		評価理由	
	A	A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当	特別支援教育支援員を全幼稚園に配置していることにより、障害がある子どもの適正な教育や支援に一定の成果を挙げたと認められる。引き続き支援員を配置するとともに、個々のケースに応じたきめ細やかな支援に努められたい。	

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	2	3	1	学校教育	教育環境の整備
実施計画事業名					
小学校施設整備事業(本納地区小中一貫校型)					

予算科目					
款 項 目 事				事業名	
9	02	01	02	小学校管理補修費	
9	02	03	01	小学校施設整備事業	
9	03	01	02	中学校管理補修費	
担当課・係等					
教育総務課総務係					

実施計画整理番号	
102030102	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	本納中学校敷地内の新校舎(8教室及び配膳室)の建設に際し、必要となる設備を整備することで、児童生徒の安全性や快適な学習環境の確保につなげる。 また、小中一貫教育の導入を進めていくことで、特色ある教育を目指す。	新校舎を建設し必要となる遊具や体育器具等を設置する。 また、駐車場やグラウンド等を整備し教育環境の改善を図る。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	本納中学校敷地内に本納小学校新校舎を建設し、必要となる設備を整備することで、児童生徒の安全性の確保や快適な学習環境の確保に繋がり、ひいては施策「教育環境の整備」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費	千円	72,696	91,871	73,786						
	財源内訳	国補助	千円	2,343	1,648						
		県補助	千円								
		市債	千円	40,100	40,100						
		その他	千円								
		一般財源	千円	32,596	49,428						
	人工数	人	1.3								
	人件費	千円	6,525								

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
校舎建設や施設整備を実施することで、児童生徒の安全性の確保や教育環境の改善に努める。	・校舎の建設 ・必要となる設備等の整備	目標値				
		実績値				
		目標値				
		実績値				
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
施設整備を実施することにより児童生徒の安全性の確保ひいては教育環境の充実につなげる。	・児童生徒の安全性の確保 ・教育環境の改善	目標値				
		実績値				
活動指標の動向			成果指標の動向			

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					予算科目					整理番号
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	102030102
1	2	3	1	小学校施設整備事業(本納地区小中一貫校型)	999	2020	1030	2010	小学校管理補修費 小学校施設整備事業 中学校管理補修費	

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	・本納地区小中一貫型校校舎建設工事を完了させた。 ・建設工事に伴い、建築基準法に基づく完了検査を実施した。 ・移転に伴い、各種整備を実施した。(駐車場、遊具、体育館、柔剣道場、フェンス等) ・保護者や地域住民に対して新校舎等の見学会を実施した。 ・国の負担金や起債の事務手続きを行い、財源の確保に努めた。		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
	A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)		
	分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
	・建設工事等の完了により、9月1日より新校舎での授業をスタートしたが、今後もグラウンド整備等を行い学習環境の確保に努める必要がある。 ・学校北側の道路拡幅工事により、フェンスの位置が2メートル程度グラウンド側に移動となる予定であり、それによりテニスコートを1メートル程度ずらすための工事等を実施する必要がある。		

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性		改善・改革の手法	
	A: 計画どおり事業を進めることが適当		⑤更なる事業の推進	
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)			
	・国の交付金の活用等、財源の確保に努め、最小の経費で最大の効果をもたらすよう、整備方法等を含め様々な角度から検討し、予算の確保に努める。 ・グラウンドやテニスコート等の整備については、関係各課と十分な協議を行い、実施時期などを含めた課題解決に向け取り組んでいく。			
	企画政策課の評価		評価理由	
	A	A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当	必要な工事や検査、整備を行うことで、教育環境の充実に一定の成果を挙げたと認められる。引き続き、児童生徒の安全、教育環境が保たれるよう、対応に努められたい。	

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	2	4	1	学校教育	教職員の資質の向上
実施計画事業名					
(小)教職員研修支援事業					

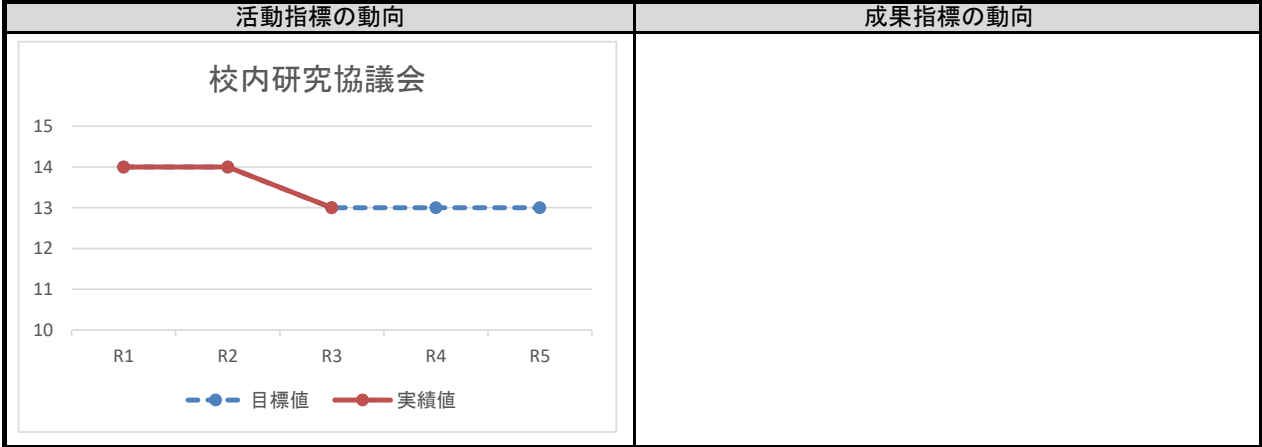
予算科目					
款	項	目	事	事業名	
9	02	02	06	職員研修支援事業	
担当課・係等					
学校教育課・指導係					

実施計画整理番号	
102040101	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	教職員一人ひとりが自己の資質・力量を磨き上げ、確かな授業力を保てるようにする。	・各学校での校内研修会及び茂原市教育研究協議会の実施支援 ・自主グループの育成及び県教委主催研修への参加の促進。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	校内研修や茂原市教育研究協議会において、教育課題に沿った研修の充実を図ることで、幅広い視野をもち児童の実態に対応できるような教職員を育成し、ひいては施策「教職員の資質の向上」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分		単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
				計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費		千円	926	926	923	926					
	財源内訳	国補助	千円									
		県補助	千円									
		市債	千円									
		その他	千円									
		一般財源	千円	926	926	923	926					
	人工数		人	—								
	人件費		千円	—								

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
各研修会で、教職員一人一人が自ら進んで研修する。	校内研究協議会	校	目標値 14	13	13	13
			実績値 14	13		
	茂原市教育研究協議会	部会	目標値 16	16	16	16
			実績値 16	16		
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
教職員一人ひとりが自己の資質・力量を磨き上げ、確かな授業力を保てるようにする。			目標値			
			実績値			



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					予算科目					整理番号
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	102040101
1	2	4	1	(小)教職員研修支援事業	9	02	02	06	職員研修支援事業	

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)

- ・教育課題に沿った研修会への参加を促進できた。
- ・校内研修や小中学校の相互参観等を通して、教職員の資質・能力の向上を図れた。

必要性の評価

A: 必要性が高い

有効性の評価

A: 有効性が高い

効率性の評価

A: 効率性が高い

総合評価

A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)

分析・評価(活動してどのような課題があったか)

- ・各研修会に参加することで、教職員として必要な資質・能力が保持されるとともに、定期的に最新の知識・技能を身に付けることができた。

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性

A: 計画どおり事業を進めることが適当

改善・改革の手法

⑤更なる事業の推進

課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)

- ・指定校等の授業公開の実施、参観を通して取組の成果を共有し、児童の学力向上や授業改善に向けた取り組みの充実を図ることで、教職員としての資質能力向上が図れる体制を整える必要がある。

企画政策課の評価

A

A: 計画どおり事業継続が適当
B: 事業改善の検討が必要
C: 事業の休止・廃止の検討が必要
D: 事業終了が適当

評価理由

協議会及び研修会を定期的に行うことにより、教職員の能力の向上に一定の成果を挙げたと認められる。引き続き能力向上に向けた機会獲得の支援に努められたい。

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	2	4	1	学校教育	教職員の資質の向上
実施計画事業名					
(中)教職員研修支援事業					

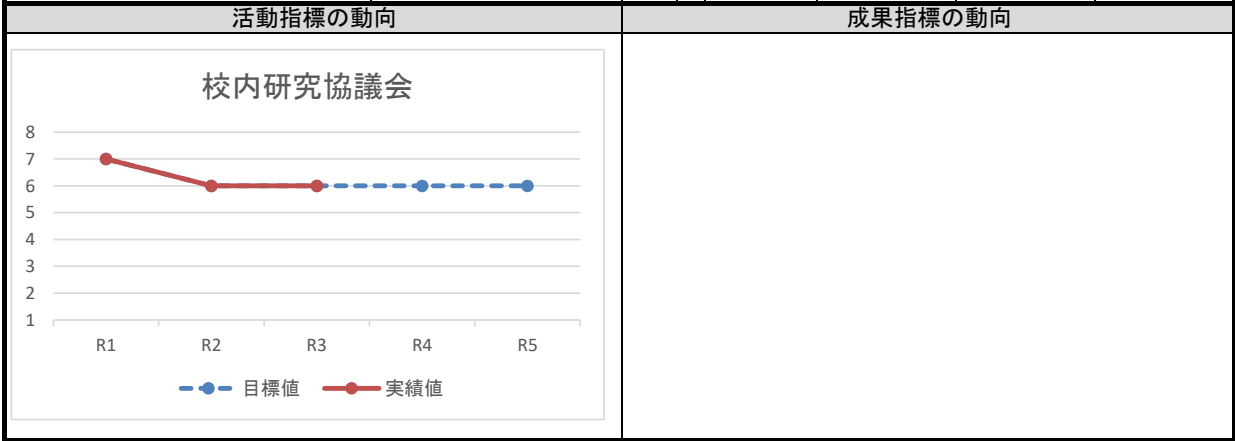
予算科目					
款 項 目 事				事業名	
9	03	02	6	職員研修支援事業	
担当課・係等					
学校教育課・指導係					

実施計画整理番号	
102040102	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)		主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)	
	教職員一人ひとりが自己の資質・力量を磨き上げ、確かな授業力を保てるようにする。		・各学校での校内研修会及び茂原市教育研究協議会の実施支援 ・自主グループの育成及び県教委主催研修への参加の促進	
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)			
	校内研修や茂原市教育研究協議会において、教育課題に沿った研修の充実を図ることで、幅広い視野をもち生徒の実態に対応できるような教職員を育成し、ひいては施策「教職員の資質の向上」に寄与する。			

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費	千円	689	689	689	689					
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	689	689	689	689					
	人工数	人		—							
	人件費	千円		—							

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
各研修会で、教職員一人ひとりが自ら進んで研修する。	校内研究協議会	校	目標値	6	6	6
			実績値	6		
	茂原市教育研究協議会	部会	目標値	14	14	14
			実績値	14		
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
教職員一人ひとりが自己の資質・力量を磨き上げ、確かな授業力を保てるようにする。			目標値			
			実績値			



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					予算科目					整理番号
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	102040102
1	2	4	1	(中)教職員研修支援事業	9	03	02	6	職員研修支援事業	

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)

- ・教育課題に沿った研修会への参加を促進できた。
- ・校内研修や小中学校の相互参観等を通して、教職員の資質・能力の向上を図れた。

必要性の評価

A: 必要性が高い

有効性の評価

A: 有効性が高い

効率性の評価

A: 効率性が高い

総合評価

A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)

分析・評価(活動してどのような課題があったか)

- ・各研修会に参加することで、教職員として必要な資質・能力が保持されるとともに、定期的に最新の知識・技能を身に付けることができた。

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性

A: 計画どおり事業を進めることが適当

改善・改革の手法

⑤更なる事業の推進

課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)

- ・指定校等の授業公開の実施、参観を通して取組の成果を共有し、児童の学力向上や授業改善に向けた取り組みの充実を図ることで、教職員としての資質能力向上が図れる体制を整える必要がある。

企画政策課の評価

A

A: 計画どおり事業継続が適当
B: 事業改善の検討が必要
C: 事業の休止・廃止の検討が必要
D: 事業終了が適当

評価理由

協議会及び研修会を定期的に行うことにより、教職員の能力の向上に一定の成果を挙げたと認められる。引き続き能力向上に向けた機会獲得の支援に努められたい。